

生 活 環 境 部

生 活 環 境 課

コ ミ ュ ニ テ イ 推 進 課

市 民 課

保 険 年 金 課

水 道 課

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		生活環境課			
事業名	簡易水道統合整理事業		会計	一般会計			
根拠法令	水道法		款	衛生費			
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ	項	上水道費			
	施策	05 上水道の整備	目	上水道費			
			事業	簡易水道統合整理事業			
		顧客 (誰を)	石岡市簡易水道（三村地区）の利用者				
		意図 (どのように)	安定した上水道の供給				
事業の概要		三村地区簡易水道の配水施設を国庫補助金の活用により更新し、湖北水道企業団へ統合しました。施設の工事・管理業務、水道料金徴収業務等事業すべてを水道業務に精通している湖北水道企業団に移管しています。					
事業全体としての課題		湖北水道への移管以前の水道料金の未収金があり、訪問徴収等を行い未納分の回収を行う必要があります。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	給水件数	給水件数（三村地区）		件	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	545	545	545		
		実績値	541	539			
事業計画	過年度 (決算額) 平成27年度	過年度 (決算額) 平成28年度	過年度 (決算額) 平成29年度	過年度 (決算額) 平成30年度	過年度 (決算額) 令和元年度	現年度 (予算額) 令和2年度	将来年度 (予測額) 令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	162	281	19	0
	一般財源	0	7,245	9	18,687	15,625	0
	実績額計	0	7,245	171	18,968	15,644	0
	予算額計	0	7,245	171	20,377	15,648	30,944
執行率	0.00%	100.00%	100.00%	93.09%	99.97%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	協議会による要望回数	茨城県中央広域水道建設促進協議会にて水道料金水準の維持などの中央要望等を行った回数				回	1
事業の成果と今後の方向性						見直し年度（目標年度）	
水道事業の継続的な強化を図り、更なる水の安全性・安定した供給を目指していきます。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		生活環境課			
事業名	水道組合助成事業	予算	会計	一般会計			
根拠法令	石岡市簡易水道組合事業費補助金交付要綱		款	衛生費			
			項	上水道費			
			目 事業	上水道費 水道組合助成事業			
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ	顧客 (誰を)	非公営簡易水道給水組合の利用者			
	施策	05 上水道の整備	意図 (どのように)	安定した上水道の供給			
事業の概要		安定した上水道の供給を図るため、市内の非公営簡易水道給水組合が実施する施設の補修等に対し、補助金を交付しています。					
事業全体としての課題		非公営簡易水道給水組合において、老朽化による施設の修繕の増加が見込まれます。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	施設修繕箇所数	非公営簡易水道施設の修繕を行った箇所数		箇所	令和元年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	—	—	—		
		実績値	—	1			
事業計画	過年度 (決算額) 平成27年度	過年度 (決算額) 平成28年度	過年度 (決算額) 平成29年度	過年度 (決算額) 平成30年度	過年度 (決算額) 令和元年度	現年度 (予算額) 令和2年度	将来年度 (予測額) 令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	0	569	0
	実績額計	0	0	0	0	569	0
	予算額計	0	0	0	0	578	415
執行率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	98.44%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	施設修繕箇所数	非公営簡易水道施設の修繕を行った箇所数				箇所	1
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
水道事業の継続的な強化を図り、更なる水の安全性・安定した供給を目指していきます。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名				
		生活環境部		生活環境課				
事業名	ごみ減量・資源化推進事業		会計	一般会計				
根拠法令			款	衛生費				
			項	清掃費				
			目	塵芥処理費				
			事業	ごみ減量・資源化推進事業				
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ	顧客(誰を)	市民, 市民団体				
	施策	06 循環型社会の構築	意図(どのように)	分別の徹底に加え, 資源ごみの集団回収の促進によるごみの減量化を図ります。				
事業の概要		家庭から排出されるごみの分別について, ごみカレンダーを作成し, ごみ出しルールの徹底を図ります。 資源ごみの回収を年2回以上実施した登録団体に対し, 補助金の交付を行っています。						
事業全体としての課題		循環型社会形成を構築していくために, ごみの減量化やリサイクルを促進する必要があります。						
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度		
	最終目標	資源化率	資源化量/総排出量 資源ごみを含めた総排出量に占める資源物の割合を算出する。		%	令和2年度		
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		目標値	22.5	22.5	18.0			
	実績値	18.41	18.01					
事業計画		過年度(決算額) 平成27年度	過年度(決算額) 平成28年度	過年度(決算額) 平成29年度	過年度(決算額) 平成30年度	過年度(決算額) 令和元年度	現年度(予算額) 令和2年度	将来年度(予測額) 令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他	1,859	1,761	1,550	1,455	1,447	0	
	一般財源	0	0	0	0	1	0	
	実績額計	1,859	1,761	1,550	1,455	1,448	0	
	予算額計	2,602	2,508	2,138	2,107	2,172	2,573	
執行率	71.45%	70.22%	72.50%	69.06%	66.67%	0.00%		
アウトプット	指標名	説明等					単位	実績値
	資源ごみ回収補助金	資源ごみの回収団体に対する補助					団体	51
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)		
集団回収によるごみの減量化やリサイクルを促進するためには, 新規の登録団体や実施回数を増やすとともに, 広報紙・HP等による周知が必要です。						令和3年度		

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		生活環境課			
事業名	清掃一般事務費	予算	会計	一般会計			
			款	衛生費			
			項	清掃費			
			目	清掃総務費			
根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	事業	清掃一般事務費				
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ	顧客(誰を)	市民全般			
	施策	06 循環型社会の構築	意図(どのように)	一般廃棄物の適正な処理を行い、住環境の向上を図ります。			
事業の概要		一般家庭から排出される一般廃棄物(ごみ・し尿)を処理します。石岡地区は霞台厚生施設組合環境センターへ搬入し、八郷地区は新治地方広域事務組合環境クリーンセンターへ搬入し適正な処理を行います。湖北環境衛生組合、霞台厚生施設組合及び新治地方広域事務組合への運営負担金が主な経費です。					
事業全体としての課題		ごみ処理施設の老朽化に伴い、広域的な新ごみ処理施設の建設を進めています。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	1人1日当たりのごみ排出量	ごみ減量化の推進 (ごみ収集量÷人口)		g	令和2年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	870	869	951.6		
	実績値	952	968				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	39,100	52,900	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	739,613	773,048	826,555	925,452	2,365,726	0
	実績額計	739,613	773,048	826,555	964,552	2,418,626	0
	予算額計	739,748	773,126	826,607	964,623	2,419,239	3,110,485
執行率	99.98%	99.99%	99.99%	99.99%	99.97%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	し尿処理量	湖北環境衛生組合石岡クリーンセンターで処理されるし尿処理量				kl	1,740
	石岡地区ごみ量	霞台厚生施設組合環境センターで処理されるごみの量				t	17,805
	八郷地区ごみ量	新治地方広域事務組合環境クリーンセンターで処理されるごみの量				t	8,200
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
生活環境に支障が生じないように、一般廃棄物(ごみ・し尿)を適正に処理する必要があり、ごみ処理施設については、施設の老朽化に伴い、新ごみ処理施設の建設を進めています。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		生活環境課			
事業名	し尿処理経費	予算	会計	一般会計			
			款	衛生費			
			項	清掃費			
			目	し尿処理費			
根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	事業	し尿処理経費				
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ	顧客 (誰を)	市民			
	施策	06 循環型社会の構築	意図 (どのように)	し尿を汲み取りし、適正に処理する。			
事業の概要		し尿の汲取り（委託）処理経費です。し尿証紙指定販売店に証紙を販売します。（令和元年度まで） 証紙制度の廃止に伴う、証紙購入料金を還付します。（令和2年度予算）					
事業全体としての課題		下水道や農業集落排水及び浄化槽の普及により、し尿汲取り量が減少します。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	年間汲取り量	下水道等の普及によるし尿汲取り減少		kl	令和2年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	2,223	1,911	2,095		
		実績値	1,968	1,740			
事業計画	過年度 (決算額) 平成27年度	過年度 (決算額) 平成28年度	過年度 (決算額) 平成29年度	過年度 (決算額) 平成30年度	過年度 (決算額) 令和元年度	現年度 (予算額) 令和2年度	将来年度 (予測額) 令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	13,447	12,443	11,726	11,045	10,891	0
	一般財源	1,143	1,199	1,025	1,074	1	0
	実績額計	14,590	13,642	12,751	12,119	10,892	0
	予算額計	15,313	15,096	13,835	12,807	12,028	753
執行率	95.28%	90.37%	92.16%	94.63%	90.56%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	し尿処理量	し尿汲取り処理量（石岡地区）				kl	1,472
	証紙販売件数	証紙販売店への販売件数				件	125
事業の成果と今後の方向性					見直し年度（目標年度）		
し尿汲み取り業務は下水道、農業集落排水及び浄化槽の普及により減少します。					令和2年度		

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		生活環境課			
事業名	塵芥処理経費	予算	会計	一般会計			
			款	衛生費			
			項	清掃費			
			目	塵芥処理費			
根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	事業	塵芥処理経費				
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ	顧客 (誰を)	市民全般			
	施策	06 循環型社会の構築	意図 (どのように)	一般家庭から排出される廃棄物を回収し適正処理を行います。			
事業の概要		一般家庭から排出される廃棄物を回収し、適正に処理します。 不法投棄防止のために監視員による巡回監視を行います。					
事業全体としての課題		環境問題からごみの分別化は進んでいますが、不法投棄は無くない状況です。 更なるごみの減量・リサイクル推進に努める必要があります。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	1人1日当たりのごみ排出量	ごみ減量化の推進 (ごみ総排出量÷人口)		g	令和2年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	870	869	951.6		
		実績値	952	968			
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来年度 (予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	35,242	36,458	36,418	38,534	47,578	0
	一般財源	197,547	195,351	194,164	191,015	175,300	0
	実績額計	232,789	231,809	230,582	229,549	222,878	0
	予算額計	234,033	232,427	231,631	231,296	232,928	248,672
執行率	99.47%	99.73%	99.55%	99.24%	95.69%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	環境監視員報酬	環境監視員の人数				人	28
	石岡地区ごみ収集量	石岡地区内から発生するごみの量				t	17,805
	八郷地区ごみ収集量	八郷地区内から発生するごみの量				t	8,120
事業の成果と今後の方向性					見直し年度 (目標年度)		
一般家庭から排出されるごみについては、市町村が収集・運搬・処分を行うことが法律で定められており、分別収集の徹底、市民意識の高揚を図ることで、ごみの減量化と資源の有効活用に結びつきます。					令和3年度		

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		生活環境課			
事業名	霞ヶ浦浄化対策経費	予算	会計	一般会計			
根拠法令	茨城県霞ヶ浦水質保全条例		款	衛生費			
			項	保健衛生費			
			目	公害対策費			
			事業	霞ヶ浦浄化対策経費			
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ	顧客 (誰を)	霞ヶ浦, 市内の河川・池沼, 市民			
	施策	07 環境保全の推進	意図 (どのように)	安心安全な水環境を保全します。			
事業の概要		霞ヶ浦の水質環境を保全するため、流入する水質等の分析、清掃活動のほか、生活排水対策として高度処理型合併処理浄化槽設置に関する補助金を交付しています。霞ヶ浦に関連する市町村と広域の協議会を組織し、ボランティア活動やイベントなど各種啓発活動を行っています。					
事業全体としての課題		霞ヶ浦富栄養化を要因として夏場にアオコ等が発生することがあります。流入する水質を浄化するため、生活排水を処理できる環境を整える必要があります。また、その結果をモニタリングするため水質調査等を継続して実施していく必要があります。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	霞ヶ浦（西浦）のCODの値		霞ヶ浦（西浦）のCODの値		mg/l	令和3年度
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	7.4	7.4	7.4		
	実績値	6.9	6.7				
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来年度 (予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	103	103	103	103	103	0
	一般財源	2,311	2,443	2,438	2,705	3,125	0
	実績額計	2,414	2,546	2,541	2,808	3,228	0
	予算額計	2,414	2,546	2,541	3,122	3,690	2,517
執行率	100.00%	100.00%	100.00%	89.94%	87.48%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	水質分析箇所数	恋瀬川・山王川・園部川 12回/年 恋瀬川（八郷地区）5ヶ所 3回/年 工場等（約10ヶ所）				ヶ所	61
	高浜入り湖面・湖岸清掃回数	霞ヶ浦の高浜入りを中心に水面の清掃を行う 月1回				回	12
	水質分析箇所（池）	東ノ辻・上谷和原・御前山・生板・柏原池 EM菌投入池を含む分析（夏期・冬季）				ヶ所	10
事業の成果と今後の方向性						見直し年度（目標年度）	
合併浄化槽補助金の交付や水質浄化の啓発等により霞ヶ浦の水質浄化が図れています。協働で行う清掃事業を今後もより地域に浸透させていきます。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		生活環境課			
事業名	狂犬病予防経費		予算	会計	一般会計		
根拠法令	狂犬病予防法・動物の愛護及び管理に関する法律			款	衛生費		
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ		項	保健衛生費		
	施策	07 環境保全の推進		目	予防費		
			顧客(誰を)	犬猫の飼い主			
			意図(どのように)	狂犬病の発生を予防する飼育と飼育マナーの向上			
事業の概要			狂犬病の発生予防とまん延の防止及び撲滅を目指して、犬の登録、狂犬病予防注射の集団接種を実施します。 犬猫の無秩序な繁殖を抑制するため、犬猫の避妊・去勢手術補助金を交付しています。				
事業全体としての課題			狂犬病予防のため狂犬病予防法では、犬の登録（新規、死亡、転居等）や予防接種が義務付けられていますが、死亡時の届け出が未提出の場合も多く存在します。飼育を放棄する方や散歩時のマナーが悪い方もいます。				
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	狂犬病発生件数	市内で狂犬病が発生した件数		件	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	0	0	0		
	実績値	0	0				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	943	547	601	591	634	0
	一般財源	0	693	781	954	964	0
	実績額計	943	1,240	1,382	1,545	1,598	0
	予算額計	943	1,240	1,382	1,628	1,689	1,703
執行率	100.00%	100.00%	100.00%	94.90%	94.61%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	犬の登録頭数	市内の犬登録総頭数				頭	5,795
	犬の新規登録頭数	年度中に市に登録し、鑑札を交付した頭数				頭	308
	集団予防接種を受けた頭数	市で実施する集団予防接種にて接種した頭数				頭	1,072
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
狂犬病予防注射の接種率を高めるため、広報やホームページ等で啓発していきます。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		生活環境課			
事業名	防除・防疫事業		予算	会計	一般会計		
根拠法令	石岡市スズメバチ駆除補助金交付要綱			款	衛生費		
				項	保健衛生費		
				目	予防費		
			事業	防除・防疫事業			
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ		顧客 (誰を)	スズメバチを駆除した市民（企業を含む）		
	施策	07 環境保全の推進		意図 (どのように)			
事業の概要			スズメバチの巣を駆除した市民等からの申請に基づき、駆除費用に対して上限5,000円を限度に2分の1を補助します。 水害等発生時に被災した場所に石灰を散布し、防疫を行います。				
事業全体としての課題			スズメバチが住民の生活圏に巣を営巣することが多くなり、市民から巣の除去依頼（誰に依頼すれば良いかわからない）問い合わせが多く寄せられています。一方、1年に1度きり活用可能な少額補助金の割に、事務に対するコスト（人件費）が多かかっています。 台風や集中豪雨時に、水害や土砂災害が発生することがあります。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	市内のスズメバチによる被害認知件数		市内のスズメバチによる被害認知件数		件	令和3年度
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	0	0	0		
		実績値	0	0			
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来年度 (予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	808	582	755	300	599	0
	実績額計	808	582	755	300	599	0
	予算額計	808	582	755	1,070	910	210
執行率	100.00%	100.00%	100.00%	28.04%	65.82%	0.00%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	スズメバチ駆除補助金交付件数		スズメバチ駆除した方に補助金を交付した件数			件	103
事業の成果と今後の方向性						見直し年度（目標年度）	
水害発生時に各種対処するため、またスズメバチの巣の駆除費用の補助金を交付するための予算であり、利用実績がなくとも一定額を確保し、万が一に備える必要があります。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		生活環境課			
事業名	環境美化推進事業		会計	一般会計			
根拠法令			款	衛生費			
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ	項	保健衛生費			
	施策	07 環境保全の推進	目	環境衛生費			
			事業	環境美化推進事業			
		顧客(誰を)	美化クラブ会員, 市民				
		意図(どのように)	道路沿いや公園などについて清掃や花苗の植栽による環境美化を推進し, 住環境の向上を図る。				
事業の概要		市内で環境美化活動を行っている美しい石岡をつくる市民の会への補助を行います。公共施設や美化クラブに対しての花苗の配布等を活用した美化運動を推進します。					
事業全体としての課題		美しい石岡をつくる市民の会を構成する美化クラブの八郷地区への拡大が必要です。市民清掃作戦のごみ収集作業については, 石岡地区が職員で回収し, 八郷地区は業者委託となっているため, 統一を図る必要があります。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	美化クラブ数	市内の美化クラブ数		団体	令和2年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	50	52	52		
	実績値	40	41				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	3,372	3,595	3,654	3,471	3,749	0
	実績額計	3,372	3,595	3,654	3,471	3,749	0
	予算額計	3,530	3,793	3,731	3,611	3,749	4,772
執行率	95.52%	94.78%	97.94%	96.12%	100.00%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	市民清掃作戦の実施	市民による市内一斉清掃の年度内の実施回数				回	2
	美化クラブへの花苗配布	環境美化活動の一環として, 美化クラブに配布する花の苗数 令和元年度は国体の実施に伴い, 花苗数を増本しています。				ポット	26,612
	美しい石岡をつくる市民の会補助金	環境美化推進を目的とする美しい石岡をつくる市民の会に対する補助				団体	41
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
美化クラブの設立数の増加を図るため, 広報紙やホームページ等による啓発を行います。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		生活環境課			
事業名	水の路クリーンナップ事業			会計	一般会計		
根拠法令				款	衛生費		
				項	保健衛生費		
				目	公害対策費		
				事業	水の路クリーンナップ事業		
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ		顧客(誰を)	高浜地区の市民		
	施策	07 環境保全の推進		意図(どのように)	下水道や農業集落排水が整備導入されていない高浜地区の生活排水を集合処理しています。		
事業の概要		高浜地区の生活排水を「四万十方式」と呼ばれる高性能水質浄化プラントを活用し、窒素やリン等を除去することにより、霞ヶ浦の水質保全に努めています。					
事業全体としての課題		下水道や農業集落排水、合併処理浄化槽設置補助等が整備・導入されていない地域があります。耐用年数が経過し、更新計画等を計画的に考えなければならない時期にきています。(基金等造成していません。)生活排水のあり方と施設更新等を市の政策全体で相対的に評価し、選択と集中を実施する必要があります。					
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	霞ヶ浦(西浦)のCOD		霞ヶ浦(西浦)におけるCODの値(年平均)		mg/l	平成30年度
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	7.4	7.4	7.4		
		実績値	6.9	6.7			
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	3,999	4,566	8,104	4,328	4,390	0
	実績額計	3,999	4,566	8,104	4,328	4,390	0
	予算額計	3,999	4,566	8,104	4,330	4,807	4,920
執行率	100.00%	100.00%	100.00%	99.95%	91.33%	0.00%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	処理水量		排水処理施設の処理能力			m ³ /日	570
	処理対象戸数		計画時の処理対象個数			戸	144
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
今後運用していくにあたり、ランニングコスト及び設備更新費用を踏まえたうえで今後の事業展開を検討する必要があります。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名				
		生活環境部		生活環境課				
事業名	市営霊園維持管理経費		予算	会計	霊園事業会計			
根拠法令	墓地埋葬法, 石岡市営墓地条例等			款	総務費			
				項	施設管理費			
				目	一般管理費			
			事業	市営霊園維持管理経費				
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ		顧客 (誰を)	市内に1年以上住んでいる方。霊園利用者			
	施策	07 環境保全の推進		意図 (どのように)	公営墓地の貸し出しを行います。			
事業の概要			寺院墓地・民営墓地や共同墓地等ではなく公営墓地を希望される市民に対し、市営霊園（龍神山・半ノ木）を、本市に1年以上住所を有する方を対象に、1区画を限度として貸し出しています。					
事業全体としての課題			龍神山霊園は、地形上、山裾にあり、勾配がきつく墓参に不便をきたしていることもあり、返還する利用者が毎年数名います。利用者に配慮した施設の修繕や改修等について、市全体の施設の在り方、費用と収益の考え方を整理する必要があります。					
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	霊園利用率		龍神山, 半ノ木霊園の利用率		%	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			令和3年度
		目標値	100	100	100			
		実績値	96	95				
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来年度 (予測額)	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	7,732	8,035	7,798	7,908	7,925	0	
	一般財源	481	1,102	1,403	2,378	2,714	0	
	実績額計	8,213	9,137	9,201	10,286	10,639	0	
	予算額計	8,243	9,137	9,201	10,980	11,868	9,569	
執行率	99.64%	100.00%	100.00%	93.68%	89.64%	0.00%		
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値	
	市内にある市営霊園数		龍神山霊園 半ノ木霊園			園	2	
	市営霊園の営業日数		市営霊園の営業日数			日	366	
事業の成果と今後の方向性						見直し年度（目標年度）		
施設の老朽化等により、修繕や改修をしていく必要があります。						令和3年度		

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		生活環境課			
事業名	公害対策経費	予算	会計	一般会計			
			款	衛生費			
			項	保健衛生費			
			目	公害対策費			
根拠法令	大気汚染防止法, 水質汚濁防止法等		事業	公害対策経費			
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ	顧客 (誰を)	市民及び工場・事業場等			
	施策	07 環境保全の推進	意図 (どのように)	公害等の環境汚染の抑制と発生時の対処			
事業の概要		公害等の問題が発生した箇所について各種調査・分析を行い、地域の安全・安心を守っています。 河川等において油等の流出事故が発生した場合に備え、被害の拡大を防ぐためのオイルフェンス・マット等を用意しています。					
事業全体としての課題		不法投棄等の場合、原因者が特定できず改善策を明確に打ち出せない場合が多々あります。地域住民の不安を解消するため経過観察で数年間水質分析等を行っています。現在、異常数値等は出ていません。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	公害苦情受理件数	大気汚染, 水質汚濁, 騒音・振動, 悪臭等に関する年間苦情件数		件	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	30	30	30		
	実績値	26	25				
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来年度 (予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	1,697	2,371	3,605	2,054	5,859	0
	実績額計	1,697	2,371	3,605	2,054	5,859	0
	予算額計	1,697	2,371	3,605	2,962	6,536	3,222
執行率	100.00%	100.00%	100.00%	69.35%	89.64%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	水質分析回数(川又地区)	残土埋立地区の水質調査				回	2
	水質分析回数(東山崎・青柳地区)	産業廃棄物不法投棄現場の水質分析(東山崎2, 青柳1)				回	3
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
問題発生時から一定年数が経過した箇所については、今後の検査体制等を地元と協議していく必要があります。また、近年増加している不法投棄や不法残土に対応するため、クライシス監視官の活用強化等を図っていく必要があります。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		生活環境課			
事業名	放射線対策経費		会計	一般会計			
根拠法令			款	衛生費			
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ	項	保健衛生費			
	施策	07 環境保全の推進	目	環境衛生費			
			事業	放射線対策経費			
			顧客(誰を)	市民・企業等			
			意図(どのように)	安心して暮らせる環境づくり			
事業の概要			放射線・放射能に関する総合調整を行っています。 ・市内各所の放射線測定, 放射線測定器の貸出 ・食品放射能測定システムによる個人生産農作物等の放射能測定 ・市産農作物, 飲料水等の放射能測定 ・測定結果の広報紙, ホームページ公開				
事業全体としての課題			東日本大震災以降, 不安を抱えている市民もいます。石岡市の放射線量等の数値は安心して暮らせるレベルではあるものの, 市民が納得できる基準の設定や, いつまで事業を継続する必要があるかの検討等が難しい状況です。				
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	放射線量0.23マイクロシーベルト毎時以下	地上1mの高さで放射線量0.23マイクロシーベルト毎時以下の測定箇所数		箇所	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	47	47	47		
	実績値	47	47				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	384	458	360	970	535	0
	実績額計	384	458	360	970	535	0
	予算額計	384	458	360	976	623	623
執行率	100.00%	100.00%	100.00%	99.39%	85.87%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	放射線測定箇所数	定期測定を行っている箇所数				箇所	47
	放射線測定器貸出受付状況	放射線測定器を貸出した件数				件	11
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
国が示す地方自治体の検査計画に基づき, 茨城県等関係機関との協力により検査対象品目の放射能検査を進めていきます。また, 関係機関と連携し, 地場製品の安全性PR等のために実施される放射能検査の継続的な支援と, 定点観測と食品放射能検査の効率化を図ります。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		生活環境課			
事業名	環境保全対策経費	予算	会計	一般会計			
根拠法令	環境基本条例		款	衛生費			
			項	保健衛生費			
			目	環境衛生費			
			事業	環境保全対策経費			
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ	顧客 (誰を)	市民や企業等			
	施策	07 環境保全の推進	意図 (どのように)	環境の変化への対応と省エネルギー対策の推進			
事業の概要		地球温暖化対策や省エネルギー対策等、地球環境を守るために必要な施策やニーズに対応し、環境施策・事業を整理し、環境各分野の対策に活かしていきます。					
事業全体としての課題		環境問題が複雑多様化しています。従前管理してきた大気・騒音等のほか、特に東日本大震災以降、放射線対策、省エネルギーの推進、太陽光発電等の自然エネルギーの推進に取り組む必要があります。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	意識啓発活動	環境学習等の実施回数		件	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	2	2	2		
	実績値	1	2				
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来年度 (予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	22	64	87	86	142	0
	実績額計	22	64	87	86	142	0
	予算額計	22	64	87	111	166	112
執行率	100.00%	100.00%	100.00%	77.48%	85.54%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	意識啓発活動	環境学習等の実施回数				件	2
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
地球環境問題を考える機会を増やすために、広報やホームページ等による啓発と学校等への情報提供を行います。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名					
		生活環境部		生活環境課					
事業名	空家等対策事業		会計	一般会計					
			款	衛生費					
			項	保健衛生費					
根拠法令	空家等対策の推進に関する特別措置法		目	環境衛生費					
			事業	空家等対策事業					
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ	顧客(誰を)	空家等の所有者等及び近隣住民					
	施策	09 その他	意図(どのように)	適正に管理されていない空家等を調査し、必要に応じ指導助言等を行い適正な管理を促します。					
事業の概要		適切な管理が行われていない空家等は、防災・安全面等、市民の生活環境に大きな影響を及ぼすことから、当市の空家等の実態調査を行い、「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づく空家等対策計画に沿った、実情に合った空家対策を推進していきます。							
事業全体としての課題		高齢化問題、相続、市外転居等様々な理由から空家等となった空家が放置される傾向にあり社会問題となっています。 所有者等は空家等につわる問題を認識していない事が多い状況を踏まえ、常日頃から将来的な空家化の可能性や、そこで起こりうる問題点などの意識を啓発していくことが求められます。							
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度			
	最終目標	特定空家等及び特定空家等候補の改善	改善件数/総件数 * 100 (特定空家等及び特定空家等候補の総件数に対して当該年度に解決した件数)		%	令和2年度			
			年度	平成30年度			令和元年度	令和2年度	令和3年度
			目標値	30			30	30	
	実績値	13.39	19.11						
事業計画		過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)	
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
財源区分	国庫支出金	0	4,168	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0	0		
	一般財源	0	6,692	6,375	353	784	0		
	実績額計	0	10,860	6,375	353	784	0		
	予算額計	0	18,186	7,336	1,481	1,769	1,812		
執行率		0.00%	59.72%	86.90%	23.84%	44.32%	0.00%		
アウトプット	指標名	説明等					単位	実績値	
	特定空家等解決件数	そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態など、他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態にある空家等の解決件数					件	4	
事業の成果と今後の方向性							見直し年度(目標年度)		
空家は全国的に増加傾向にあります。当市も例外ではなく、石岡市空家等対策計画を策定し、空家等の実態把握を継続しつつ、空家等の発生抑制・解消を進めていくことが重要です。特に、特定空家等の認定とその解消を計画的に実施し、利活用等による発生抑制についても進めていく必要があります。							令和3年度		

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		生活環境課			
事業名	石岡地方斎場組合負担金	予算	会計	一般会計			
			款	衛生費			
			項	保健衛生費			
			目	保健衛生総務費			
根拠法令	石岡地方斎場管理及び運営に関する条例	事業	石岡地方斎場組合負担金				
体系	政策	07 時代の変化に的確に対応できるまちへ	顧客 (誰を)	石岡地方斎場を利用する方			
	施策	04 広域行政の推進	意図 (どのように)	一部事務組合による広域かつ効率的な運営			
事業の概要		すべての自治体において必要とされる事務であり、事業費も大きくなることから、近隣市町村と協力して、共同処理した方が効率の良い事業のひとつでもあります。石岡地方斎場を運営（火葬・待合室の貸出・式場の貸出等）するために必要な経費を構成市（石岡市・かすみがうら市・小美玉市）で負担しています。					
事業全体としての課題		現在の斎場は、平成26年から供用開始されています。その中で、年約1%増加している火葬件数への対応と、それに伴い不足している待合室への対応が必要です。また、旧斎場の跡地の利活用も課題となっています。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	式場使用件数	式場を使用した件数（圏域内と圏域外の合計）		件	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	450	450	450		
		実績値	439	433			
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来年度 (予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	89,821	56,849	83,080	67,281	70,371	0
	実績額計	89,821	56,849	83,080	67,281	70,371	0
	予算額計	89,821	56,849	83,080	67,290	70,371	155,527
執行率	100.00%	100.00%	100.00%	99.99%	100.00%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	火葬件数	構成市民が利用した火葬件数				件	1,820
事業の成果と今後の方向性						見直し年度（目標年度）	
一部事務組合を組織し、構成市の協力のもと事業を展開していきます。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		コミュニティ推進課			
事業名	施設運営経費		予算	会計	一般会計		
根拠法令	石岡市民会館条例			款	総務費		
				項	総務管理費		
				目	市民会館費		
			事業	施設運営経費			
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ		顧客(誰を)	施設利用者		
	施策	05 文化・芸術の推進		意図(どのように)	文化・芸術に接する機会を提供する。		
事業の概要			自主事業等を開催し、文化・芸術活動の場として施設を提供します。				
事業全体としての課題			市民会館は、音楽や演劇などの鑑賞したり、自らが創作や発表活動に参加する場として地域の文化活動の振興を図る文化行政の中核施設を担っています。また、集会施設として多くの催事に利用されており、現状と課題を踏まえながら時代にふさわしい文化芸術活動の拠点として整備する必要があります。				
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	施設利用者数	オーデトリウム棟及び管理棟の利用人数		人	平成30年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	50,000	50,000	—		
		実績値	69,844	59,286			
事業計画	過年度(決算額) 平成27年度	過年度(決算額) 平成28年度	過年度(決算額) 平成29年度	過年度(決算額) 平成30年度	過年度(決算額) 令和元年度	現年度(予算額) 令和2年度	将来年度(予測額) 令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	8,043	6,407	5,842	5,715	0	0
	一般財源	7,760	4,529	5,408	9,979	13,173	0
	実績額計	15,803	10,936	11,250	15,694	13,173	0
	予算額計	17,188	12,608	13,196	15,977	14,318	388
執行率	91.94%	86.74%	85.25%	98.23%	92.00%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	市民会館運営委員会	運営に関する報告及び事業計画について				回	2
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
—						—	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		コミュニティ推進課			
事業名	施設維持管理経費		予算	会計	一般会計		
根拠法令	石岡市民会館条例及び規則			款	総務費		
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ		項	総務管理費		
	施策	05 文化・芸術の推進		目	市民会館費		
			事業	施設維持管理経費			
			顧客 (誰を)	施設利用者			
			意図 (どのように)	安心・安全・快適な施設環境を提供します。			
事業の概要			施設の適正な維持管理を実施します。				
事業全体としての課題			老朽化等の課題を有する施設のあり方や管理運営方法などについて検討が必要です。				
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	施設利用者数	オーデトリウム棟及び管理棟の利用人数		人	平成30年度	
			年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
			目標値	50,000	50,000	—	
			実績値	69,844	59,286		
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来年度 (予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	19,407	24,050	28,079	27,491	18,801	0
	実績額計	19,407	24,050	28,079	27,491	18,801	0
	予算額計	19,737	24,731	29,664	30,168	25,140	1,897
執行率	98.33%	97.25%	94.66%	91.13%	74.79%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	ターボ冷凍機保守点検業務委託	期始調整・冷房中間点検・期末調整・オフ点検・その他（凝縮器・蒸発器のチューブ清掃）各年2回				回	1
	設備管理業務委託	日常業務（常駐1名）電気工事士（高圧）2級ボイラー技師・危険物乙種第4類				名	1
	清掃業務委託	配置人員 7:30~11:30 2名 12:30~15:30 1名				名	3
事業の成果と今後の方向性					見直し年度（目標年度）		
<ul style="list-style-type: none"> ・建物の除却までの適切な管理 ・利用可能な備品の整理 ・閉鎖後の利活用の検討 					—		

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		コミュニティ推進課			
事業名	桜づつみ維持管理経費		予算	会計	一般会計		
根拠法令				款	総務費		
				項	総務管理費		
				目	諸費		
			事業	桜づつみ維持管理経費			
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ		顧客(誰を)	公園利用者(地域住民・サイクリスト・釣り客など)		
	施策	06 公園・緑地の整備		意図(どのように)	潤いと安らぎを与えます。		
事業の概要			恋瀬川下流右岸(高浜愛郷橋)堤防沿いに桜、つつじ、山茶花等の植栽や堤防と遊歩道・駐車場等を整備し、市民の憩いの場を確保します。				
事業全体としての課題			令和8年3月31日まで河川占有許可を受けているため、その後の維持管理について調整が必要となります。				
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	維持管理	年間敷地内除草回数		回	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	3	3	3		
	実績値	3	5				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	1,334	1,370	1,369	1,370	1,438	0
	実績額計	1,334	1,370	1,369	1,370	1,438	0
	予算額計	1,340	1,392	1,391	1,389	1,455	1,457
執行率	99.55%	98.42%	98.42%	98.63%	98.83%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	桜づつみ面積	実数				m ²	18,590.21
	巡視作業	月2回の巡視を実施				回	24
	仮設トイレ清掃作業	トイレ清掃を実施				回	18
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
利用者の安全と、機能保持のため計画的な補修が必要です。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		コミュニティ推進課			
事業名	交通安全対策経費		会計	一般会計			
根拠法令	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等		款	総務費			
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ	項	総務管理費			
	施策	01 交通安全の推進	目	交通安全対策費			
			事業	交通安全対策経費			
		顧客(誰を)	市民				
		意図(どのように)	交通安全知識の普及及び交通安全の意識の高揚を図ります。				
事業の概要		市民に対し交通安全知識の普及や、交通安全意識の高揚を図るとともに、交通安全施設等の整備により、安全な居住環境を整え、安心して生活できる街づくりを目的とします。毎月1日「交通安全の日」(啓発活動)石岡市民間交通指導員による児童の登校時における保護及び誘導・カーブミラーの設置・スクールゾーンの設置・市営駐輪場の管理をします。					
事業全体としての課題		交通事故の発生状況は改善傾向にある一方、高齢者が事故の被害者又は加害者になる率が増えつつあります。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	街頭キャンペーン参加・協力	街頭キャンペーンを実施して、ドライバーに交通安全を呼びかける。街頭キャンペーン参加者		人	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	950	950	950		
	実績値	844	857				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	278	274	1,650	1,306	1,152	0
	一般財源	24,526	21,323	21,567	20,553	22,524	0
	実績額計	24,804	21,597	23,217	21,859	23,676	0
	予算額計	27,226	25,049	25,413	25,430	25,402	25,876
執行率	91.10%	86.22%	91.36%	85.96%	93.21%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	民間交通指導員育成推進	民間交通指導員定数(50人以内)				人	46
	駐輪場管理委託	・第1駐輪場(ステーションパーク側) ・第2駐輪場(石岡郵便局前) ・第3駐輪場(駅東)				日	308
事業の成果と今後の方向性					見直し年度(目標年度)		
更なる交通安全への意識啓発を進めていきます。					令和3年度		

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		コミュニティ推進課			
事業名	安全・安心まちづくり推進事業		会計	一般会計			
根拠法令	石岡市暴力団排除条例		款	総務費			
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ	項	総務管理費			
	施策	02 防犯対策の充実	目	諸費			
			事業	安全・安心まちづくり推進事業			
		顧客(誰を)	市民, 事業者				
		意図(どのように)	安全安心に生活できる環境を守ります。				
事業の概要		地域住民との協働(パトロール)により, 犯罪の発生を未然に防止し, 市民生活の安全確保・地域の防犯環境を整えます。 エンゼルパトロール(無償ボランティアによる防犯パトロール活動)					
事業全体としての課題		全国的に, 身近な場所で子どもや女性が凶悪犯罪に巻き込まれる事件が発生しており, 市民の間にも安全に対する不安感が広がっています。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	防犯カメラ設置数	犯罪等の抑止を目的とした市内要所への防犯カメラの設置数		基	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	30	30	30		
	実績値	23	25				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	6,033	3,067	1,209	0
	一般財源	4,593	13,327	5,996	6,670	4,447	0
	実績額計	4,593	13,327	12,029	9,737	5,656	0
	予算額計	5,092	19,692	13,695	12,683	6,465	6,345
執行率	90.20%	67.68%	87.83%	76.77%	87.49%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	エンゼルパトロール登録者数	エンゼルパトロール会員登録者数				人	739
	青色防犯パトロール実施	青色防犯パトロール巡回実施日数				日	184
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
エンゼルパトロール(無償ボランティアによる防犯パトロール)会員の登録者の増加を図ります。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		コミュニティ推進課			
事業名	街路灯・防犯灯事業		会計	一般会計			
根拠法令	石岡市LED防犯灯設置補助金交付要綱		款	総務費			
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ	項	総務管理費			
	施策	02 防犯対策の充実	目	諸費			
			事業	街路灯・防犯灯事業			
		顧客(誰を)	市民, 区, 自治会等				
		意図(どのように)	明るく住みよい街にします。				
事業の概要		夜間における犯罪の未然防止と通行の安全性を確保するため, 街路灯を整備するとともに, LED防犯灯の設置や改修を支援します。					
事業全体としての課題		環境負荷の低減, 省エネルギー化及び消費電力等の削減のため, LED防犯灯への器具交換を継続的に取り組む必要があります。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	LED防犯灯設置及び器具等交換灯数	LED防犯灯への交換・新設灯数		灯	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	750	750	750		
	実績値	733	610				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	12,707	15,867	14,729	15,024	14,121	0
	実績額計	12,707	15,867	14,729	15,024	14,121	0
	予算額計	12,951	15,873	15,732	15,104	16,491	15,648
執行率	98.12%	99.96%	93.62%	99.47%	85.63%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	LED防犯灯設置及び器具等交換灯数	LED防犯灯への交換及び新設灯数				灯	610
	街路灯設置灯数	工事及び電気料等を市が負担し, 維持管理する。				灯	25
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
必要な場所への防犯灯・街路灯の整備を進めます。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		コミュニティ推進課			
事業名	消費者保護育成事業	予算	会計	一般会計			
根拠法令	石岡市消費生活センター規則		款	商工費			
			項	商工費			
			目 事業	消費者行政費 消費者保護育成事業			
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ	顧客 (誰を)	消費者			
	施策	03 消費生活の安全確保	意図 (どのように)	情報提供を行い、正しい知識を身につけの確な判断をサポートします。			
事業の概要		消費者自身が自主的に商品知識や消費者保護等の諸制度を習得することにより消費者意識の向上を図るとともに、市民の消費生活に係る相談及び苦情の対応を適正かつ効率的に処理し、市民の消費生活安定と向上を図ります。					
事業全体としての課題		消費生活が豊かになった反面、消費者が被害に遭うケースも年々増加しています。最近では、電子メール、封書、電報による利用した覚えのない情報料の架空請求、催促が多くなっています。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	消費者保護啓発活動	出前講座・消費生活展・高齢者対象キャンペーン等のセンター外における啓発活動の実施回数		回	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	10	10	10		
	実績値	6	6				
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来年度 (予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	930	1,706	1,446	1,227	1,374	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	2,738	3,289	3,606	3,774	3,623	0
	実績額計	3,668	4,995	5,052	5,001	4,997	0
	予算額計	4,014	5,274	5,274	5,311	5,386	6,276
執行率	91.38%	94.71%	95.79%	94.16%	92.78%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	消費生活展に出展する団体	出展団体数				団体	10
	石岡市くらしの会連絡会会員	消費生活に関する知識の普及、情報の提供等の啓発活動				人	21
	消費生活相談員数	実数				人	4
事業の成果と今後の方向性					見直し年度(目標年度)		
消費者へのバックアップ体制の整ったまちを目指します。					令和3年度		

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		コミュニティ推進課			
事業名	コミュニティ・新生活運動事業		予算	会計	一般会計		
根拠法令	石岡市コミュニティ助成事業補助金交付要綱			款	総務費		
				項	総務管理費		
				目	諸費		
			事業	コミュニティ・新生活運動事業			
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ		顧客 (誰を)	助成金を申請した区, 自治会等のコミュニティ団体		
	施策	08 協働によるまちづくりの推進		意図 (どのように)	コミュニティの健全な発展を図り, 住民間の連帯意識の向上を推進します。		
事業の概要			コミュニティ活動の推進を図るため, 宝くじの収益金を財源にお祭り等の備品や遊具等の整備を図ります。				
事業全体としての課題			(財) 自治総合センターから宝くじの収益金を財源としているため, 事業の推進が, 当センターの事業採択結果に応じた対応となります。				
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	コミュニティ助成団体		コミュニティ助成件数		件	令和3年度
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	1	1	1		
	実績値	0	1				
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来年度 (予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	2,509	2,500	2,512	0	2,306	0
	一般財源	36	10	88	45	34	0
	実績額計	2,545	2,510	2,600	45	2,340	0
	予算額計	2,630	2,591	2,630	45	2,600	2,571
執行率	96.77%	96.87%	98.86%	100.00%	90.00%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	コミュニティ助成事業申請件数	コミュニティ助成事業に申請する区, 自治会等のコミュニティ団体数				団体	1
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
今後も引き続きコミュニティ活動の推進を図っていきます。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		コミュニティ推進課			
事業名	コミュニティセンター維持管理経費			会計	一般会計		
根拠法令	石岡市コミュニティセンター条例			款	総務費		
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ			項	総務管理費	
	施策	08 協働によるまちづくりの推進			目	諸費	
			顧客(誰を)	施設利用者			
			意図(どのように)	施設を快適に利用していただく。			
事業の概要		各地区のコミュニティセンターの活用により、地域住民の相互交流及び教養文化の向上を図り、地域コミュニティの醸成を目指します。					
事業全体としての課題		指定管理者に管理運営を委託したため、管理者も管理運営費等の収支報告や管理状況等の把握と自らの責任において経費等の削減を図っています。					
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	コミュニティセンター会議室利用者数		南台コミュニティセンター 杉並コミュニティセンター 鹿の子コミュニティセンター		人	令和3年度
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	25,000	25,000	25,000		
	実績値	26,027	25,795				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	2,684	3,140	2,730	2,861	2,773	0
	実績額計	2,684	3,140	2,730	2,861	2,773	0
	予算額計	2,705	3,155	2,811	2,862	2,773	3,016
執行率	99.22%	99.52%	97.12%	99.97%	100.00%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	コミュニティ活動支援施設数	南台コミュニティセンター・杉並コミュニティセンター・鹿の子コミュニティセンター				施設	3
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
施設の老朽化もあり、今後、計画的に修繕を行っていきます。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		コミュニティ推進課			
事業名	区長・協力員関係経費	予算	会計	一般会計			
根拠法令	石岡市区長及び協力員条例		款	総務費			
			項	総務管理費			
			目	一般管理費			
			事業	区長・協力員関係経費			
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ	顧客(誰を)	区長・協力員			
	施策	08 協働によるまちづくりの推進	意図(どのように)	区長・協力員が職務を遂行し、まちづくりに積極的に参加します。			
事業の概要		地域の代表として、行政と住民の連携を図るため、パイプ役となる区長や協力員を市が委嘱し、報償を支払っています。 区長を構成員とした地域コミュニティの任意団体である、石岡市区長会へ補助金を交付しています。					
事業全体としての課題		平成18年度までは合併前の旧体制（駐在員制度、区長制度）でしたが、平成19年度から新区長・協力員制度を導入しました。石岡市自治会連合会と石岡市八郷地区区長連合会は、平成19年度から統一し、平成23年度から石岡市区長会と名称を改めました。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	自治組織加入率	区・自治会等への加入世帯/全世帯数		%	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	75	75	75		
	実績値	70	70				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	44,582	44,348	44,554	44,406	44,523	0
	実績額計	44,582	44,348	44,554	44,406	44,523	0
	予算額計	45,710	45,710	45,832	44,448	45,097	44,957
執行率	97.53%	97.02%	97.21%	99.91%	98.73%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	区長数	区長の委嘱数				人	298
	協力員数	協力員の委嘱数				人	1,137
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
地域の自主的な活動を支え、かつ、行政だけでは実現が困難な部分を把握し、区長協力員の役割に関する検討について、継続して取り組んでいきます。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		コミュニティ推進課			
事業名	協働まちづくり推進事業		予算	会計	一般会計		
根拠法令	石岡市協働のまちづくり条例			款	総務費		
				項	総務管理費		
				目	諸費		
			事業	協働まちづくり推進事業			
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ		顧客(誰を)	市民, 地域コミュニティ, 事業者		
	施策	08 協働によるまちづくりの推進		意図(どのように)	市民等が地域社会に関心を持ちながら, 地域の課題に対して自発的に取り組みます。		
事業の概要			市民と行政がそれぞれに有する専門的な知識や技術などの特性を活かし, 市民と行政が, お互いの情報を共有し, 協力し合い課題の解決を目指す「協働まちづくり」に取り組んでいきます。				
事業全体としての課題			市民と行政が連携し, 協力してまちづくりに取り組んでいくための役割分担や事業を推進するにあたり基本的なルールを定めます。				
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	協働活動事例の周知	「協働のまちづくり」に係る事例を広報紙・ホームページ・SNS・メルマガ等にて発出した回数		回	令和3年度	
			年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
			目標値	10	10	10	
	実績値	3	5				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	1,615	810	750	204	150	0
	一般財源	0	0	448	867	1,140	0
	実績額計	1,615	810	1,198	1,071	1,290	0
	予算額計	1,800	1,272	1,876	1,881	1,758	12,658
執行率	89.72%	63.68%	63.86%	56.94%	73.38%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	協働活動事例の周知	「協働のまちづくり」に係る事例を広報紙・ホームページ・SNS・メルマガ等にて発出した回数				回数	5
	「協働のまちづくり推進事業」参加人数	協働のまちづくり推進委員会・市民討議会・石岡みらい創造塾など, 協働のまちづくり推進事業に係る会議・事業等に参加した人数				人	25
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
「石岡市協働のまちづくり条例」に示された協働の理念により, 現在市民と協力し, 行われている事業を分析し, その事業の発展向上を目指します。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		コミュニティ推進課			
事業名	旭台会館管理経費	予算	会計	一般会計			
根拠法令	石岡市旭台会館条例		款	総務費			
			項	総務管理費			
			目 事業	諸費 旭台会館管理経費			
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ	顧客 (誰を)	施設利用者			
	施策	08 協働によるまちづくりの推進	意図 (どのように)	市民の福祉の増進、学習の場等としての満足度を高めま す。			
事業の概要		市民の交流の場及び各種団体の集いの場としての利用のほか、立地を活かした広域的 利用や、各種講座を開催してコミュニティの充実を図ります。					
事業全体としての課題		施設の認知度を高めるとともに、市民に期待される講座等を開講することにより、学 習意欲を一層高める場として提供していく必要があります。					
成果 指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	施設利用者数	年度実数		人	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	30,000	30,000	30,000		
	実績値	23,427	19,318				
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来年度 (予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源 区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	6,508	8,487	6,768	7,101	6,803	0
	実績額計	6,508	8,487	6,768	7,101	6,803	0
	予算額計	6,509	8,559	6,773	7,110	6,828	6,893
執行率	99.98%	99.16%	99.93%	99.87%	99.63%	0.00%	
アウト プット	指標名	説明等				単位	実績値
	旭台会館 提供機能	施設の機能数 多目的ホール・視聴覚室(全)・視聴覚室(1)・視聴覚室 (2)・和室・会議室(地下)・会議室(1)・会議室(2)				室	8
	施設利用団体数	施設利用団体数				人	66
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
施設設備の改修をし、施設の目的を十分に踏まえ、維持管理していきます。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		コミュニティ推進課			
事業名	まちかど情報センター運営経費		予算	会計	一般会計		
根拠法令	石岡市まちかど情報センター条例			款	総務費		
				項	総務管理費		
				目	諸費		
			事業	まちかど情報センター運営経費			
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ		顧客(誰を)	施設利用者		
	施策	08 協働によるまちづくりの推進		意図(どのように)	情報の発信源として出来るだけ多くの人に利用していただきます。		
事業の概要			中心市街地の空き店舗を利用し、地域情報の発信拠点として、案内やイベントガイド等の情報提供を行います。 インターネット、会議室の利用 各種イベントの開催				
事業全体としての課題			指定管理により運営していますが、立地特性を生かしながら、市民ネットワークの充実や中心市街地の活性化に継続的に取り組む必要があります。				
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	施設利用者数	年度実数		人	令和3年度	
			年度	平成30年度			令和元年度
		目標値	37,300	37,300	37,300		
		実績値	31,020	27,235			
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	10	0	0	0	
	一般財源	9,854	10,304	10,243	10,615	10,239	0
	実績額計	9,854	10,314	10,243	10,615	10,239	0
	予算額計	9,909	10,341	10,301	10,709	10,255	10,623
執行率	99.44%	99.74%	99.44%	99.12%	99.84%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	まちかど情報センター	会議室・市民サロン				室	2
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
地域情報の発信拠点となる施設であるため、観光案内やイベントガイド情報の提供を更に進めていきます。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		コミュニティ推進課			
事業名	市民盆踊り大会事業		会計	一般会計			
根拠法令			款	総務費			
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ	項	総務管理費			
	施策	08 協働によるまちづくりの推進	目	諸費			
			事業	市民盆踊り大会事業			
		顧客(誰を)	市民				
		意図(どのように)	多くの人に参加いただき、地域の活性化につなげます。				
事業の概要		市民盆踊り大会を市民盆踊り実行委員会に委託し、子ども輪投げ大会、盆踊りコンテスト、お楽しみ抽選会を実施しています。					
事業全体としての課題		開催回数50回を超え、地域のイベントとして定着していますが、市域全体からの参加が課題です。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	参加者数	実数		人	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	1,000	1,000	1,000		
	実績値	864	1,040				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	999	999	969	1,091	1,180	0
	実績額計	999	999	969	1,091	1,180	0
	予算額計	1,000	1,000	970	1,092	1,180	1,400
執行率	99.90%	99.90%	99.90%	99.91%	100.00%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	参加団体数	出店・アトラクション・実行委員を含む参加団体				件	36
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
盆踊り実行委員会が、自主運営できるよう強化育成を図る必要があります。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		コミュニティ推進課			
事業名	結婚相談経費		予算	会計	一般会計		
根拠法令	石岡市いばらき出会いサポートセンター登録補助金交付要綱			款	総務費		
体系	政策	05 健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ		項	総務管理費		
	施策	03 子育て環境の充実		目	諸費		
			事業	結婚相談経費			
			顧客(誰を)	未婚の男女			
			意図(どのように)	できるだけ多くの出会いを提供します。			
事業の概要			少子化の要因でもある未婚者に対応するため、広域で結婚相談業務を行い、結婚申込者の受付、結婚適齢期に関する調査研究、結婚相談に関する啓発等により、結婚成立を目指します。 結婚相談員(定員) 石岡市8名, 小美玉市8名, 計16名				
事業全体としての課題			近年の結婚事情における晩婚化現象、結婚に対する考え方の変化などが進んでいます。未婚者を取り巻く社会環境に応じた施策の検討が求められます。				
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	婚約成立数	結婚相談員が相談等を行ったことにより婚約が成立した件数		組	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	5	5	5		
	実績値	2	0				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	659	660	672	727	719	0
	実績額計	659	660	672	727	719	0
	予算額計	660	660	673	789	789	789
執行率	99.85%	100.00%	99.85%	92.14%	91.13%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	結婚相談員会議の開催	毎月1回の結婚相談と広域での情報交換 ・相談員会議開催日数				日	12
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
出会いの場の提供や相談事業を充実し、色々な人と出会えるようバックアップを行います。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		コミュニティ推進課			
事業名	文書管理事務費	予算	会計	一般会計			
根拠法令	石岡市区長及び協力員条例		款	総務費			
			項	総務管理費			
			目	文書広報費			
			事業	文書管理事務費			
体系	政策	07 時代の変化に的確に対応できるまちへ	顧客 (誰を)	市民等			
	施策	01 積極的な情報発信と対話の充実	意図 (どのように)	市報等を各区長及び協力員等に配布します。			
事業の概要		効率的に各世帯へ市報等が届くように、各区長及び協力員等に配布します。					
事業全体としての課題		各区長及び協力員等を通じて、効率的に各世帯へ市報等が届けられています。戸数が多い地区もあり、区長・協力員の負担が多すぎないようにサポートが必要です。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	市報等配布委託	広報いしおかを各区長及び協力員に届けた回数		回	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	24	24	24		
	実績値	24	24				
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来年度 (予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	4,908	4,990	4,853	4,919	5,150	0
	実績額計	4,908	4,990	4,853	4,919	5,150	0
	予算額計	4,997	5,036	5,055	5,071	5,665	5,814
執行率	98.22%	99.09%	96.00%	97.00%	90.91%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	市報等配布委託	効率的に各戸へ広報いしおかを配布するため、各区長及び協力員に届けた回数				回	24
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
より確実に効率的な配布を行っていきます。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		市民課			
事業名	戸籍事務費	予算	会計	一般会計			
			款	総務費			
			項	戸籍住民基本台帳費			
			目	戸籍住民基本台帳費			
根拠法令	戸籍法	事業	戸籍事務費				
体系	政策	07 時代の変化に的確に対応できるまちへ	顧客(誰を)	一般市民			
	施策	02 庁舎の整備・行政サービスの充実	意図(どのように)				
事業の概要		国民の出生から死亡に至るまで、親族法上の身分関係を公文書たる戸籍に登録し、これを公証します。戸籍に係る証明、戸籍届出書受付(出生、死亡、婚姻等)などです。					
事業全体としての課題		証明書交付申請、戸籍届出時の本人確認の徹底と、身分に関する記録を正確に記録することです。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	戸籍処理件数	本籍人の受理・送付の累計件数 3,316件 / 非本籍の受理件数 383件 / 戸籍にかかる証明累計件数28,290件 (R1年度) 目標値は参考値であり、過去5年間の平均値とします。		件	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	30,000	40,000	40,000		
	実績値	45,380	31,989				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	13,535	12,792	12,290	12,347	12,345	0
	一般財源	689	1,967	2,445	2,497	2,330	0
	実績額計	14,224	14,759	14,735	14,844	14,675	0
	予算額計	14,802	14,877	14,898	15,038	15,020	23,279
執行率	96.10%	99.21%	98.91%	98.71%	97.70%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	戸籍処理件数	本籍人の受理・送付の累計件数 3,316件 / 非本籍の受理件数 383件 / 戸籍にかかる証明累計件数28,290件 (R1年度) 目標値は参考値であり、過去5年間の平均値とする。				件	31,989
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
正確な事務処理と迅速対応に努めます。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		市民課			
事業名	人口動態調査経費	予算	会計	一般会計			
			款	総務費			
			項	戸籍住民基本台帳費			
			目	戸籍住民基本台帳費			
根拠法令	人口動態調査令, 人口動態調査令施行規則		事業	人口動態調査経費			
体系	政策	07 時代の変化に的確に対応できるまちへ	顧客(誰を)	一般市民			
	施策	02 庁舎の整備・行政サービスの充実	意図(どのように)				
事業の概要		出生・死亡・婚姻・離婚及び死産の届出書に基づいて人口動態調査票を作成します。					
事業全体としての課題		人口動態調査票に正確に記録することです。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	人口動態調査	毎月調査票を保健所へ報告。(年12回)			回	令和3年度
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	12	12	12		
		実績値	12	12			
事業計画	過年度(決算額) 平成27年度	過年度(決算額) 平成28年度	過年度(決算額) 平成29年度	過年度(決算額) 平成30年度	過年度(決算額) 令和元年度	現年度(予算額) 令和2年度	将来年度(予測額) 令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	36	78	70	15	32	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0
	実績額計	36	78	70	15	32	0
	予算額計	71	88	85	83	72	74
執行率	50.70%	88.64%	82.35%	18.07%	44.44%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	人口動態調査	出生数・死亡数・死産数・婚姻数・離婚数の累計を, 毎月保健所へ報告				回	12
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
個人情報の管理に努め, 正確な数値を保健所へ報告します。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		市民課			
事業名	旅券事務費	予算	会計	一般会計			
根拠法令	旅券法		款	総務費			
			項	戸籍住民基本台帳費			
			目	戸籍住民基本台帳費			
体系	政策	顧客(誰を)	一般市民				
	施策	意図(どのように)					
事業の概要		旅券の申請交付事務を行います。					
事業全体としての課題		旅券の不正取得を防ぐために、申請者の本人確認、書類審査を厳格に行う必要があります。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	旅券交付件数	旅券交付件数(平成27年度より紛失申請含む)(目標値は参考値であり過去4年間の平均値とします。)		件	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	1,600	1,600	1,600		
	実績値	1,639	1,500				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	1,143	1,168	1,215	1,244	1,538	0
	実績額計	1,143	1,168	1,215	1,244	1,538	0
	予算額計	1,167	1,193	1,319	1,339	1,636	1,655
執行率	97.94%	97.90%	92.12%	92.91%	94.01%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	旅券交付	旅券交付枚数 目標値は参考値であり、過去4年間の平均値とします。				件	1,500
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
申請者に、適切な助言とサービス向上に努めます。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名				
		生活環境部		市民課				
事業名	住民基本台帳事務費	予算	会計	一般会計				
根拠法令	住民基本台帳法 番号法		款	総務費				
			項	戸籍住民基本台帳費				
			目	戸籍住民基本台帳費				
体系	政策	顧客(誰を)	事業	住民基本台帳事務費				
	施策	意図(どのように)		一般市民カードを取得した市民 マイナンバーカードを取得した市民				
事業の概要		住民の居住関係の公証、選挙人名簿の登録、その他住民に関する事務処理の基礎を行っています。住民登録にかかる証明、住民登録異動等(転入、転出、転居)などを行います。						
事業全体としての課題		証明書交付申請及び異動届出時の本人確認を徹底する必要があります。住民に関する記録の適正な管理と正確な記録を行う必要があります。マイナンバーカードの交付を促進し、マイナンバーカードを利用したコンビニ等での交付を推進していく必要があります。						
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度		
	最終目標	個人番号カード保有率の向上	個人番号カードの保有率 個人番号カード交付件数(11,120件) コンビニ交付件数3061件(R1年度) 全国のコンビニでの交付及び本庁キオスク端末利用件数【参考】		%	令和3年度		
			年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			目標値	30	30	30		
	実績値	12.6	14.8					
事業計画		過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	1,044	15,357	7,645	8,501	13,165	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他	14,167	23,302	20,248	19,496	16,229	0	
	一般財源	0	1	0	0	0	0	
	実績額計	15,211	38,660	27,893	27,997	29,394	0	
	予算額計	17,968	46,998	29,570	38,999	40,436	69,992	
執行率		84.66%	82.26%	94.33%	71.79%	72.69%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等					単位	実績値
	自動交付機発行件数	本庁、支所、公民館、まちかど情報センター自動交付機による証明書発行枚数の合算(平成29年度より廃止)					件	-
	市民カード発行	市民カード発行枚数、目標値は参考値であり、過去4年間の平均値とします。(平成29年度より廃止)					枚	-
	コンビニ交付発行数	全国のコンビニでの交付及び本庁キオスク端末利用件数					件	3,764
事業の成果と今後の方向性							見直し年度(目標年度)	
個人番号カード交付率向上に向けて、啓発や個人番号カードを申請済みであり受領していない方への催促通知をしていきます。正確な情報提供を行い、個人情報については慎重に取り扱っていきます。							令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		市民課			
事業名	外国人届出等事務費		会計	一般会計			
根拠法令	入管法 入管特例法 住民基本台帳法		款	総務費			
体系	政策	07 時代の変化に的確に対応できるまちへ	項	戸籍住民基本台帳費			
	施策	02 庁舎の整備・行政サービスの充実	目	戸籍住民基本台帳費			
			事業	外国人届出等事務費			
顧客(誰を)	外国人						
意図(どのように)							
事業の概要		国内に在留する外国人の居住関係及び身分関係を明確にして、在留外国人の「公正な原票管理」に資することとします。 住基法の一部を改正する法律により、外国人住民を住基法の適用対象に加えることになり、住民票の作成となりました。					
事業全体としての課題		証明書交付申請及び異動届出時の本人確認の徹底の必要があります。また、住民に関する記録の適正な管理と正確な記録を行う必要があります。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	外国人登録処理件数	外国人事務取扱い件数 (目標値は参考値である) 平成24年7月に制度が改正されました。		件	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	2,000	500	500		
	実績値	468	590				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	87	57	246	47	247	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0
	実績額計	87	57	246	47	247	0
	予算額計	281	344	309	306	389	500
執行率	30.96%	16.57%	79.61%	15.36%	63.50%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	外国人登録処理件数	外国人事務取扱い件数 平成24年7月9日に制度が改正されました。 ※中長期在留者住居地届出等事務受付件				件	590
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
迅速かつ正確に処理を行い、個人情報については慎重に取り扱っていきます。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		市民課			
事業名	臨時運行許可事務費	予算	会計	一般会計			
			款	総務費			
			項	総務管理費			
			目	諸費			
根拠法令	道路運送車両法, 石岡市自動車臨時運行許可に関する施行規則	事業	臨時運行許可事務費				
体系	政策	07 時代の変化に的確に対応できるまちへ	顧客(誰を)	一般市民			
	施策	02 庁舎の整備・行政サービスの充実	意図(どのように)				
事業の概要		運行要件を満たしていない自動車の新規登録や車検証の有効期間が満了した自動車の継続審査を受ける場合等に、自動車臨時運行許可番号標識(仮ナンバー)を貸与します。					
事業全体としての課題		貸与期間内に返却されない場合があることなどから、適正な利用を推進する必要があります。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	臨時運行許可件数	臨時運行許可件数 (目標値は参考値であり、過去4年間の平均値とします。)		件	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	930	980	980		
		実績値	988	954			
事業計画	過年度(決算額) 平成27年度	過年度(決算額) 平成28年度	過年度(決算額) 平成29年度	過年度(決算額) 平成30年度	過年度(決算額) 令和元年度	現年度(予算額) 令和2年度	将来年度(予測額) 令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	27	33	0	33	33	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0
	実績額計	27	33	0	33	33	0
	予算額計	57	54	34	33	33	33
執行率	47.37%	61.11%	0.00%	100.00%	100.00%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	臨時運行許可手数料	臨時運行許可件数 目標値は参考値であり、過去4年間の平均値とする。				件	954
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
迅速かつ正確に処理を行い、個人情報については慎重に取り扱っていきます。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		市民課			
事業名	印鑑登録証明事務費	予算	会計	一般会計			
根拠法令	石岡市印鑑条例		款	総務費			
			項	戸籍住民基本台帳費			
			目	戸籍住民基本台帳費			
			事業	印鑑登録証明事務費			
体系	政策	07 時代の変化に的確に対応できるまちへ	顧客(誰を)	一般市民			
	施策	02 庁舎の整備・行政サービスの充実	意図(どのように)				
事業の概要		印鑑登録することにより、個人の財産・権利を保護します。					
事業全体としての課題		印鑑の登録及び証明により財産・権利を保護する。印鑑証明書をコンビニ等で交付するためには、マイナンバーカードの交付を促進し、コンビニ等での交付を推進していく必要があります。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	自動交付機取扱い件数(平成29年度より廃止)	本庁, 支所, 公民館, まちかど情報センター合算		件	平成29年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	—	—	—		
	実績値	—	—				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	165	280	395	394	370	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0
	実績額計	165	280	395	394	370	0
	予算額計	237	426	421	412	417	381
執行率	69.62%	65.73%	93.82%	95.63%	88.73%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	新規印鑑登録者数	新規印鑑登録者累計数 目標値は参考値であり、過去4年間の平均値とします。				件	2,796
	印鑑証明交付枚数	印鑑証明交付件数(自動交付機) 目標値は参考値であり、過去4年間の平均値とします。(平成29年度より自動交付機廃止)				件	—
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
迅速かつ正確に処理を行い、個人情報については慎重に取り扱っていきます。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		保険年金課			
事業名	成人保健事業	予算	会計	一般会計			
根拠法令	石岡市後期高齢者人間ドック等健診補助交付要綱		款	衛生費			
			項	保健衛生費			
			目	市民健康管理費			
			事業	成人保健事業			
体系	政策	顧客(誰を)	75歳以上(一定の障害がある場合は65歳以上)の方				
	施策	意図(どのように)	高齢期における安心した生活のために、市民の健康保持と増進を図ります。				
事業の概要		75歳以上の後期高齢者を対象に、人間ドック等の補助をすることにより、健康の保持増進に寄与するとともに、疾病の早期発見・早期治療による医療費の削減を図ります。					
事業全体としての課題		人間ドック等への国庫補助金が、段階的に削減されています。このことにより、一般財源が年々増加していく見込みです。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	人間ドック受診者数	人間ドック受診者数		人	令和元年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	207	236	300		
	実績値	153	196				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	1,875	2,393	2,193	1,872	2,136	0
	一般財源	31	32	1,000	1,238	1,812	0
	実績額計	1,906	2,425	3,193	3,110	3,948	0
	予算額計	2,404	2,916	3,484	4,126	4,749	6,117
執行率	79.28%	83.16%	91.65%	75.38%	83.13%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	人間ドック補助件数	人間ドック等の受診者に対し、以下のとおり補助金を交付。日帰りまたは1泊人間ドック20,000円、脳ドック(健康診査無)13,000円、脳ドック(基本健診有)25,000円				件	196
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
人間ドック等の受診者数は被保険者の増加とともに増えています。今後も定期的な受診の推進と補助制度の周知に努め、受診者数の増加を目指すことにより、健康管理意識向上・健康保持を図り、市民が健康で安心した生活を送れるように寄与します。並びに、疾病の早期発見・早期治療による医療費の抑制につなげていきます。						毎年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		保険年金課			
事業名	後期高齢者医療経費	予算	会計	一般会計			
			款	民生費			
			項	社会福祉費			
			目	後期高齢者医療給付費			
根拠法令	高齢者の医療の確保に関する法律	事業	後期高齢者医療経費				
体系	政策	05 健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ	顧客 (誰を)	75歳以上（一定の障害がある場合は65歳以上）の方			
	施策	08 社会保障制度の安定した運営	意図 (どのように)	市民の高齢期における適切な医療の確保のため、療養給付費負担金を広域連合に支払います。			
事業の概要		茨城県後期高齢者広域連合への運営負担金や療養給付費負担金、また後期高齢者特別会計への繰出金や健康診査など、後期高齢者医療制度に係る経費です。					
事業全体としての課題		高齢化による被保険者の増加により、医療給付費が年々増加しており、繰出金の増加も予測されています。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	健康診査受診率	健康診査受診者 / (被保険者数-施設入所者等非該当者)		%	令和元年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	23	23	23		
	実績値	21.4	21.3				
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来年度 (予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	130,258	132,405	135,613	137,522	129,387	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	11,814	13,154	13,671	14,412	14,577	0
	一般財源	778,937	800,641	819,775	807,567	849,889	0
	実績額計	921,009	946,200	969,059	959,501	993,853	0
	予算額計	934,271	960,670	987,352	979,268	1,013,632	1,033,003
執行率	98.58%	98.49%	98.15%	97.98%	98.05%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	健康診査受診率	健康診査受診率				%	21.3
	後期高齢者医療療養給付費負担金	高齢者の医療の確保に関する法律に基づく負担金（医療費1/12相当）				千円	759,244
	後期高齢者医療広域連合負担金	茨城県後期高齢者医療広域連合の運営のための共通経費				千円	26,330
事業の成果と今後の方向性						見直し年度（目標年度）	
安定した制度運営のための各種市町村負担金の支払いを滞りなく進め、広域連合からの受託事業である健康診査業務についても円滑に実施しました。今後も、健康診査の受診を促すとともに、保健福祉部と連携した保健事業を検討していきます。						毎年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名					
		生活環境部		保険年金課					
事業名	基礎年金事務費		会計	一般会計					
根拠法令	国民年金法		款	民生費					
体	政策	05 健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ	項	社会福祉費					
	施策	08 社会保障制度の安定した運営	目	国民年金費					
系			事業	基礎年金事務費					
		顧客(誰を)	日本国内に住所のある20歳以上の人						
		意図(どのように)	高齢・障害・死亡により生活の安定がそなわれることを、国民の共同連帯により防止する。						
事業の概要		被保険者の資格・保険料・給付に関する相談業務を行います。 被保険者の資格・保険料・給付に関する届書を受付し年金事務所に進達します。							
事業全体としての課題		少子高齢化が進む中、支える側である現役世代の数が減り、支えられる受給者世代が増える状況にあります。年金制度は賦課方式を採用しており、将来年金が貰えないのではないかと不安や世代間格差などの社会問題、制度改正により相談内容が多様化しています。							
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度			
	最終目標	国民年金関係届書を受付日から2週間以内に進達	申請/進達 国民年金関係届書 国民年金免除・納付猶予申請書 国民年金学生納付特例申請書		%	令和2年度			
			年度	平成30年度			令和元年度	令和2年度	令和3年度
			目標値	100			100	100	
実績値	90	100							
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
財源区分	国庫支出金	1,678	1,607	3,082	3,316	1,663	0		
	県支出金	0	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0	0		
	一般財源	0	0	0	0	0	0		
	実績額計	1,678	1,607	3,082	3,316	1,663	0		
	予算額計	2,595	2,118	3,975	3,722	2,084	2,645		
執行率	64.66%	75.87%	77.53%	89.09%	79.80%	0.00%			
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値		
	茨城県都市国民年金協議会負担金	市町村国民年金担当者事務説明会 1名				回	1		
	制度の周知	広報への掲載 冊子・パンフレットの配布				回	4		
事業の成果と今後の方向性					見直し年度(目標年度)				
日本年金機構と協力、連携し市民の受給権を確保するため広報等で制度の周知を行うとともに、制度改正等に留意し、法律等に基づいて事業を適切に実施していきます。					令和元年度				

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		保険年金課			
事業名	医療福祉一般事務費	予算	会計	一般会計			
			款	民生費			
			項	社会福祉費			
			目	医療福祉費			
根拠法令	石岡市医療福祉費支給に関する条例	事業	医療福祉一般事務費				
体系	政策	顧客(誰を)	小児(乳児~18歳)・妊産婦・ひとり親家庭の児童と父又は母・重度心身障害者				
	施策	意図(どのように)	医療費負担を軽減し、小児の健全育成及び妊産婦・ひとり親家庭・障害者の経済的支援を図る。				
事業の概要		市内に住む医療保険加入者で、小児(入院のみ18歳まで)・妊産婦・ひとり親家庭の児童と父又は母・重度心身障害者を対象とした県助成事業。(所得制限有り)医療費のうち、保険診療の一部自己負担金相当額を助成します。(マル福自己負担金有り)県内の医療機関等については現物給付、県外は償還払いを行います。					
事業全体としての課題		少子高齢化が進み、生産年齢人口の減少に伴い税収減が懸念される中で、医療福祉費制度を持続可能なものとする必要があります。また、医療の高度化、高齢化の進行に伴い1人当りの医療費は年々増加しているとともに、新たな福祉、医療、健康づくりなどの行政ニーズにも対応する必要があります、その財源確保が課題となっています。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	対象者数	対象者数 (R1:12,598人)		人	令和3年度	
			※目標値は過去3年の実績平均値				
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		実績値	12,097	12,598			
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	203,744	203,440	205,895	201,749	197,496	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	48,186	49,057	45,054	45,399	51,038	0
	一般財源	209,980	199,418	209,111	203,906	195,784	0
	実績額計	461,910	451,915	460,060	451,054	444,318	0
	予算額計	477,423	474,787	497,295	478,294	478,850	466,868
執行率	96.75%	95.18%	92.51%	94.30%	92.79%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	新電算共同処理システム委託料	医療福祉費請求書資格確認業務件数				件	142,818
	一部負担金の助成件数	医療福祉費受給者に係る医療費の一部負担金の助成件数				件	144,293
事業の成果と今後の方向性					見直し年度(目標年度)		
小児にかかる入院の18歳まで拡大や重度心身障害者の対象要件拡大に伴い、受給対象者数は増加しました。しかし、重度心身障害者及び小児(入院18歳拡大)の中で未申請の方がいることから、今後、申請を促し医療負担の軽減につなげていきます。					令和3年度		

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		保険年金課			
事業名	医療福祉市単独事業		会計	一般会計			
根拠法令	石岡市医療福祉費支給に関する条例		款	民生費			
体系	政策	05 健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ	項	社会福祉費			
	施策	08 社会保障制度の安定した運営	目	医療福祉費			
			事業	医療福祉市単独事業			
		顧客(誰を)	県医療福祉費補助対象外の小児・妊産婦および18歳までの外来分				
		意図(どのように)	少子化対策の充実のため、小児・妊産婦に係る医療費を助成し、子育て家庭の経済的支援を図る。				
事業の概要		<p>県の所得基準額を超えた対象外の小児・妊産婦に対し所得制限を撤廃し保険診療の一部自己負担額を助成します。</p> <p>中学生から18歳に達する最初の3月31日までの外来・調剤にかかる費用を助成します。(小児について、県内受診は現物支給、県外受診は償還払い。妊産婦は償還払いとなっています。)</p>					
事業全体としての課題		<p>少子高齢化が進み、生産年齢人口の減少に伴い税収減が懸念される中で、医療福祉費制度を持続可能なものとするため、財源の確保が課題となっています。少額な負担や調剤が無料であるために、一部患者の過度な受診や検査・投薬による医療費の増加が懸念されています。</p>					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	対象者数	対象者数 (R1: 2,572人)		人	令和3年度	
			※目標値は過去3年の実績平均				
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標値	1,994	1,995	2,090			
	実績値	1,848	2,572				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	23,476	19,808	27,226	28,116	16,783	0
	一般財源	25,754	21,406	1,271	1,295	18,757	0
	実績額計	49,230	41,214	28,497	29,411	35,540	0
	予算額計	50,067	41,466	39,276	33,756	44,387	59,290
執行率	98.33%	99.39%	72.56%	87.13%	80.07%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	一部負担金の助成件数	<p>県補助対象外の小児及び妊産婦に対し保険診療の一部自己負担額を助成。また、18歳に達する最初の3月31日までの外来・調剤にかかる費用(現物)を助成。</p>				件	18,607
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
<p>小児の外来・調剤を令和元年10月から18歳まで拡大したことにより、県の助成制度を含め0歳から18歳までの外来・調剤・入院のすべてが助成の対象となり、出産及び子育てにかかる負担軽減が図れました。今後は、厳しい財政状況の中、制度が持続できるよう適切な受診を呼び掛けていきます。</p>						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		保険年金課			
事業名	国民健康保険会計（総括）	予算	会計	国民健康保険会計			
			款	総務費			
			項	総務管理費			
			目	一般管理費			
根拠法令	国民健康保険法		事業	職員等人件費			
体系	政策	05 健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ	顧客（誰を）	国民健康保険被保険者			
	施策	08 社会保障制度の安定した運営	意図（どのように）	被保険者の社会保障及び保健の向上			
事業の概要		被保険者の疾病、負傷、出産又は死亡に関して必要な保険給付を行います。					
事業全体としての課題		被保険者の高齢化や医療技術の高度化などにより、被保険者一人当たりの医療費が増加傾向にあります。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	国民健康保険税収納率（現年度分）	収納額÷調定額		%	令和元年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	92.00	92.66	92.86		
		実績値	92.46	92.30			
事業計画	過年度（決算額） 平成27年度	過年度（決算額） 平成28年度	過年度（決算額） 平成29年度	過年度（決算額） 平成30年度	過年度（決算額） 令和元年度	現年度（予算額） 令和2年度	将来年度（予測額） 令和3年度
財源区分	国庫支出金	2,235,004	2,184,435	2,171,101	741	534	0
	県支出金	525,128	522,358	428,626	5,278,227	5,365,645	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	4,442,879	4,281,314	4,119,760	37,507	21,995	0
	一般財源	2,721,963	2,688,651	2,564,971	2,891,099	2,258,967	0
	実績額計	9,924,974	9,676,758	9,284,458	8,207,574	7,647,141	0
	予算額計	10,682,391	10,696,978	10,667,577	8,990,102	8,144,548	7,798,900
執行率	92.91%	90.46%	87.03%	91.30%	93.89%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	国民健康保険特別会計における給付事業並びに保健事業実施経費	被保険者の疾病・負傷による医療機関受診に関し、保険者負担分として国保連合会から診療報酬が請求されたものに対して支払いを行うものです。				千円	7,647,141
事業の成果と今後の方向性						見直し年度（目標年度）	
国民健康保険は、平成30年度から県が財政運営の責任主体となり、市町村は引き続き資格管理、保険給付、保険税の賦課・徴収及び保健事業等を実施していきます。収納率は、前年度を下回りました。今後も納税相談や収納対策により収納率の向上に努めるとともに保健事業を展開し、医療費の適正化に努めます。						毎年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		保険年金課			
事業名	後期高齢者医療会計（総括）	予算	会計	後期高齢者医療会計			
			款	総務費			
			項	総務管理費			
			目	一般管理費			
根拠法令	高齢者の医療の確保に関する法律	事業	一般管理事務費				
体系	政策	05 健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ	顧客（誰を）	75歳以上（一定の障害がある場合は65歳以上）の市民			
	施策	08 社会保障制度の安定した運営	意図（どのように）	高齢期における適切な医療の確保のため、保険料に関する事務を行います			
事業の概要		運営主体の茨城県後期高齢者医療広域連合が、医療給付や保険料の決定等の事務を行い、市は窓口事務および保険料の徴収事務を担っており、徴収した保険料は広域連合へ納付します。広域連合と連携して安定した制度運営を図り、市民の高齢期における適切な医療の確保に努めています。					
事業全体としての課題		高齢化の進展とそれに伴う医療費の増大が進む中、いかに高齢者の医療費を安定的に支え、医療サービスを維持向上していくかが課題となっています。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	保険料収納率（現年度分）		（収納額－還付未済金）/調定額		%	令和元年度
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	99.5	99.34	99.42		
		実績値	99.26	99.22			
事業計画	過年度（決算額） 平成27年度	過年度（決算額） 平成28年度	過年度（決算額） 平成29年度	過年度（決算額） 平成30年度	過年度（決算額） 令和元年度	現年度（予算額） 令和2年度	将来年度（予測額） 令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	1,359	799	1,785	640	910	0
	一般財源	696,149	736,188	775,794	816,986	844,018	0
	実績額計	697,508	736,987	777,579	817,626	844,928	0
	予算額計	711,444	754,338	794,249	836,594	866,958	944,932
執行率	98.04%	97.70%	97.90%	97.73%	97.46%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	保険料収納率（現年度）	公平公正な保険料負担と安定した制度運営のため、保険料の収納率の向上を目指します。（収納額－還付未済額）/調定額				%	99.22
事業の成果と今後の方向性						見直し年度（目標年度）	
運営主体である茨城県後期高齢者医療広域連合との連携のもと、市の担当業務を適正に進めます。徴収事務については、普通徴収の被保険者に対し、コンビニ収納や口座振替を推進して利便性を図るとともに、納付相談を呼びかけるなど個別の事情に応じた保険料の徴収に努めます。あわせて、広報等での制度周知や啓発に努め、制度運営の安定・向上を図ります。						毎年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名				
		生活環境部		水道課				
事業名	特別会計繰出金	予算	会計	一般会計				
根拠法令	地方公営企業法		款	衛生費				
			項	上水道費				
			目	上水道費				
			事業	特別会計繰出金				
体系	政策	03	人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ	顧客(誰を)	水道使用者			
	施策	05	上水道の整備	意図(どのように)				
事業の概要			水道事業は独立採算制が原則ですが、地方公営企業法上、地方公営企業の経営に伴う収入をもって充てることが適当でない経費、収入のみをもって充てることが客観的に困難と認められる経費等については、一般会計等が負担するものとされています。毎年、地方公営企業繰出金について（総務省自治財政局長通知）の繰出基準に基づき繰出すことにより、上水道事業の経営基盤の強化及び資本費負担の軽減を図っています。					
事業全体としての課題			水道事業は独立採算制が原則ですが、水道管、水道施設更新のスピード化を図るためや料金収入の減少への対応として、新たな一般会計からの補助について検討の必要があります。自然条件等により建設改良費が割高なため資本費が高額となり高水準の料金設定になります。					
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	有収率		有収水量÷配水量		%	令和20年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			令和3年度
		目標値	76	76.2	79			
		実績値	75.68	78.45				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0		
	一般財源	77,267	66,979	55,030	33,878	26,670	0	
	実績額計	77,267	66,979	55,030	33,878	26,670	0	
	予算額計	77,267	66,979	55,030	33,921	26,670	24,764	
執行率	100.00%	100.00%	100.00%	99.87%	100.00%	0.00%		
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値	
	地方公営企業繰出金について(総務省自治財政局長通知)	地方公営企業繰出金について(総務省自治財政局長通知)による繰出基準に基づき、一般会計から水道事業会計へ繰出すものです。				千円	26,670	
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)		
今後も地方公営企業繰出金について(総務省自治財政局長通知)に基づき、繰出すことにより、上水道事業の経営基盤の強化及び資本費負担の軽減を図っていきます。						令和4年度		

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		水道課			
事業名	水道事業会計全般		会計	水道事業会計			
根拠法令	地方公営企業法		款	—			
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ	項	—			
	施策	05 上水道の整備	目	—			
			事業	水道事業会計全般			
			顧客(誰を)	水道使用者			
			意図(どのように)				
事業の概要		八郷地区全域において、安全で安定した水道水を供給するための水道事業を運営しています。					
事業全体としての課題		既に耐用年数を経過した施設を多く抱えており、更新需要が増大しています。管路の老朽化に伴い漏水事故が頻発し、有収率が低迷しています。その他、人材育成、組織の充実、施設規模や維持管理の適正化、料金収入減少への対応、経営基盤の強化等、種々の課題が生じています。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	有収率	有収水量÷配水量		%	令和20年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	76	76.2	79		
		実績値	75.68	78.45			
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	824,266	752,376	912,665	714,922	752,085	0
	実績額計	824,266	752,376	912,665	714,922	752,085	0
	予算額計	1,042,847	1,012,634	1,046,926	770,193	821,885	854,279
執行率	79.04%	74.30%	87.18%	92.82%	91.51%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	配水管布設替	老朽配水管の更新工事の延長距離及び民有地に布設されている配水管の布設替工事の延長距離です。(建設改良工事の配水管布設に係る工事の延長距離)				m	655
	老朽施設更新	既存施設の機能を維持するための、水道施設の更新工事件数です。(建設改良工事及び保存工事の水道施設更新に係る工事件数)				件	3
	取水井戸改修	井戸水の安定取水を維持し、水量の確保を図るための取水井戸改修工事件数です。(保存工事の井戸に関する工事件数)				件	1
事業の成果と今後の方向性					見直し年度(目標年度)		
平成30年度において、石岡市水道事業中長期基本計画、水道事業ビジョン、水道事業経営戦略を策定しております。今後は、本計画に基づき事業の運営を進めて参ります。					令和3年度		

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		生活環境部		水道課			
事業名	老朽施設更新	予算	会計	水道事業会計			
根拠法令	地方公営企業法		款	資本的支出			
			項	建設改良費			
			目	水道建設事業費			
			事業	老朽施設更新			
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ	顧客 (誰を)	水道使用者			
	施策	05 上下道の整備	意図 (どのように)	安定した給水を行う。			
事業の概要		耐用年数を経過し安定給水に支障のある水道施設の更新工事を行います。					
事業全体としての課題		機械電気設備が耐用年数を超え、更新の時期にきています。施設については耐震性が不明な施設があるため、耐震診断及び耐震化を図る必要があります。給水人口の減少や湖北水道企業団との統合を見据え、施設規模や維持管理の適正化を図る必要があります。大規模更新時期に備えた財源の確保を図る必要があります。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	有収率	有収水量÷配水量		%	令和20年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	76	76.2	79		
		実績値	75.68	78.45			
事業計画	過年度 (決算額) 平成27年度	過年度 (決算額) 平成28年度	過年度 (決算額) 平成29年度	過年度 (決算額) 平成30年度	過年度 (決算額) 令和元年度	現年度 (予算額) 令和2年度	将来年度 (予測額) 令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	46,915	2,354	28,804	45,036	51,062	0
	実績額計	46,915	2,354	28,804	45,036	51,062	0
	予算額計	249,667	6,941	34,150	45,036	51,062	26,950
執行率	18.79%	33.91%	84.35%	100.00%	100.00%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	老朽施設更新	既存施設の機能を維持するための水道施設の更新工事件数です。 (建設改良工事及び保存工事の水道施設更新に係る工事件数)				件	2
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
平成30年度において、石岡市水道事業中長期基本計画、水道事業ビジョン、水道事業経営戦略を策定しております。今後は、本計画に基づき、事業の運営を進めて参ります。						令和4年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名				
		生活環境部		水道課				
事業名	配水管布設	予算	会計	水道事業会計				
根拠法令	地方公営企業法		款	資本的支出				
			項	建設改良費				
			目	水道建設事業費				
			事業	配水管布設				
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ	顧客 (誰を)	水道使用者				
	施策	05 上水道の整備	意図 (どのように)					
事業の概要		老朽配水管の更新及び配水管の布設替による民有地埋設配水管の解消を図っています。						
事業全体としての課題		管路の老朽化に伴い漏水事故が頻発し、有収率が低迷しています。配水管が民有地に布設してある箇所が数多くあり、公道への布設替えが求められています。人口減少に伴い、給水収益の増加が見込めない中で管路更新を実施するため、財源の確保が大きな課題です。						
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度	
	最終目標	有収率	有収水量 ÷ 配水量			%	令和20年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		目標値	76	76.2	79			
		実績値	75.68	78.45				
事業計画	過年度 (決算額) 平成27年度	過年度 (決算額) 平成28年度	過年度 (決算額) 平成29年度	過年度 (決算額) 平成30年度	過年度 (決算額) 令和元年度	現年度 (予算額) 令和2年度	将来年度 (予測額) 令和3年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0		
	一般財源	59,831	73,818	224,770	11,589	29,517	0	
	実績額計	59,831	73,818	224,770	11,589	29,517	0	
	予算額計	59,831	118,497	224,770	121,000	86,134	110,000	
執行率	100.00%	62.30%	100.00%	9.58%	34.27%	0.00%		
アウトプット	指標名	説明等					単位	実績値
	配水管布設替	老朽配水管の更新工事の延長距離及び民有地に布設されている配水管の布設替工事の延長距離です。(建設改良工事の配水管布設に係る工事の延長距離)					m	655
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)		
平成30年度において、石岡市水道事業中長期基本計画、水道事業ビジョン、水道事業経営戦略を策定しました。今後は、本計画に基づき、事業の運営を進めて参ります。						令和4年度		

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名				
		生活環境部		水道課				
事業名	漏水調査	予算	会計	水道事業会計				
根拠法令	地方公営企業法		款	水道事業費用				
			項	営業費用				
			目 事業	配水及び給水費 漏水調査				
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ	顧客 (誰を)	水道使用者				
	施策	05 上水道の整備	意図 (どのように)					
事業の概要		管路の漏水調査を実施し漏水の早期発見、早期修繕により有収率の改善に努めています。						
事業全体としての課題		管路の老朽化に伴い漏水事故が頻発し、早期発見、早期修繕に努めていますが、依然として有収率が低迷している状態にあります。						
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度		
	最終目標	有収率	有収水量÷配水量		%	令和20年度		
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		目標値	76	76.2	79			
		実績値	75.68	78.45				
事業計画	過年度 (決算額) 平成27年度	過年度 (決算額) 平成28年度	過年度 (決算額) 平成29年度	過年度 (決算額) 平成30年度	過年度 (決算額) 令和元年度	現年度 (予算額) 令和2年度	将来年度 (予測額) 令和3年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0		
	一般財源	999	1,933	3,401	2,333	2,295	0	
	実績額計	999	1,933	3,401	2,333	2,295	0	
	予算額計	3,000	3,000	3,401	3,000	3,000	3,000	
執行率	33.30%	64.43%	100.00%	77.77%	76.50%	0.00%		
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値	
	漏水調査	漏水の早期発見、早期修繕により、有収率の向上を図るための漏水調査件数です。(委託料の内、漏水調査に係る件数)				件	22	
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)		
平成30年度において、石岡市水道事業中長期基本計画、水道事業ビジョン、水道事業経営戦略を策定しました。今後は、本計画に基づき、事業の運営を進めて参ります。						令和4年度		